

Fortran 用のエディター fcpad について

2012 年 2 月 26 日 平山 英夫

Fortran 開発環境 CPad for Salford FTN77 を

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/prog/se153699.html>

からダウンロードします。fcpad231.lzh を解凍ソフトで解凍して Program Files などにおきます。

fcpad を立ち上げます。始めて実行すると設定を促してきます。

「基本設定」パネルを設定します。

「コンパイラのパス」に g77 の実行ファイルを指定します。参照で設定する時、ファイル形式を「すべての実行ファイル」にしておきます。「標準のデータ保存フォルダ」は、ファイルの管理がしやすいように適宜変更して下さい。egs5 で使用する場合は、userdir 等日常一番使用するフォルダにすれば良いと思います。「ファイル保存時に自動的にバックアップを取る」は、好みで設定して下さい。

egs5 の場合、実行パネルの設定は不要です。

以上で、ファイルの操作が可能になります。

1. 継続行である 6 カラムは、塗りつぶしがされているので判りやすい。
2. Fortran の命令を正しく書くと色づけされて表示される。(ただし do, if stop などいくつかの命令のみ)
3. 実行文が 72 カラムを超えると赤字になる。

これらは、Fortran の初心者には便利な機能です。ファイルの操作は、ほかのエディターと同じです。

問題点 g77 で例えば test.for をコンパイルすると、a.exe が作成されます。しかし、fcpad でコンパイルした後に実行しようとする時、test.exe を実行しようするため、そのファイルが見つからずエラーとなります。これは、fcpad で Ftn77 という fortran compiler の使用を前提としているためです。なお Ftn77 で egs5 をコンパイルするテストを行ったところ、エラーが出て、コンパイルできませんでした。Fortran source 用のテキストエディターとして有用であることは確実ですので、この用途に限って使用してください。(2012 年 5 月 23 日 波戸加筆)